

成人式

初の平成生まれも

今年の新成人は133万人、昭和45年の246万人をピークに過去最低を更新しました。成田市では1,524人が対象となり、1月12日、国際文化会館で成人式が行われました。今年、初めて平成生まれが成人の仲間入りをし、当日は1,005人が来場。晴れ着の新成人で会場は華やぎ、久しぶりに会う友に会話も弾んでいました。



昭和51年から成人式の会場となっている国際文化会館。今年もたくさんの振り袖、紋付羽織袴姿の新成人が集まりました



親子そろって笑顔でスタート

下総地区マラソン大会

ゴール目指して全力疾走

スポーツ日和の晴天に恵まれた1月10日、下総運動公園で「下総地区マラソン大会」が開催されました。学年・年齢ごとのマラソンやミニ駅伝のほか、親子マラソンも実施されたこの大会には、340人の地区住民が参加。応援に駆け付けた家族の声援を受け、参加者たちは白い息を吐きながら健脚を競い合いました。

橋賀台小特別授業

スゴ技にビックリ!

縄跳びで数々の世界記録を持つ「縄跳び名人」の鈴木勝己さんを講師に招き、子どもたちにスポーツの楽しさや努力を続けることの大切さを知ってもらおうと1月19日、橋賀台小学校で全校生徒を対象に特別授業が行われました。今年で70歳を迎えるという鈴木さんは、自身の技術を上達させてきた過程や、日ごろの健康管理などについて軽妙な語り口で講演し、その後縄跳びを実演。連続二重飛びや三重飛びといったスピード感溢れる鈴木さんの技に、子どもたちからは歓声が絶えませんでした。



子どもたちの前で演技する鈴木さん

いにしえより伝わる豊凶占い

今年の作物の出来などを占う「筒粥^{つつがゆ}」が1月14日、台方の麻賀多神社で行われました。まず、約24cmに切りそろえた葦^{あし}の茎をすだれ状に編んだものを、大鍋の中で米・小豆・水とともに数時間煮込みます。そして、夕方の6時から、神前で大鍋から取り出した葦を一本一本割り開き、筒の中の粥の入り具合で26項目を占います。以前は夜中の2時ごろから行われ、結果を知りたい農家の人たちが大勢集まったとのことでした。太田宮司によると、「7分(最高は9分)が多かった昨年に比べ今年は6分が多いようです」とのことでした。26本の内訳は、

「日照り 6分、雨 4分、風 6分、わせ 5分、なかで 6分、おく 3分、大麦 5分、小麦 5分、大豆 7分、小豆 5分、粟 7分、稗 6分、黍 7分、胡麻 6分、麻 8分、い草 5分、芋 7分、きわた 8分、入り水 6分、売買 5分、男 5分、女 6分、童 7分、思い 4分、世の中 6分、こかい 6分」となっています。

「わせ・なかで・おく」は稲、「きわた」は綿、「こかい」は蚕のことです。



神前で厳かに執り行われます



並んでゴール。勝ったのは…

久住地区一周駅伝大会

小泉地区 激戦を制し連覇

「久住地区一周駅伝大会」が1月11日、久住公民館を発着点に全14区間・20.1kmで行われました。今年は、まれに見るデッドヒート。最終区間で、2位だった小泉地区が飯岡・大生地区の背中を捕え、そのまま並んでゴール…タッチの差で小泉地区が競り勝ち、逆転で連覇をもぎ取りました。主な成績は次の通りです。

- 優勝 小泉地区
- 準優勝 飯岡・大生地区
- 第3位 荒海地区

Hondaエコノパワー燃費競技全国大会

昨年の悔しさを力に 頂点へ

1リットルのガソリンで何キロメートル走行できるのか、独創的なアイデアと技術を競う「本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」が10月19日、ツインリンクもてぎ(栃木県)を会場に開催されました。グループII(高等学校クラス)に出場した下総高校自動車部は、燃費1,910.237km/lを記録し、見事、優勝を果たしました。「22年の地道な取り組みと、生徒たちの頑張りが実を結びました」と、顧問の中西浩明先生(航空車両整備科)は言います。部長の青柳恭平さん(3年生)は「昨年は準優勝。今年は絶対に負けたくなかったし、勝つ自信がありました」と笑顔で話していました。



高校クラスで栄冠に輝いた下総高校自動車部メンバー



現在、卒業制作の電気自動車制作に当たる部長の青柳恭平さん